

## 平成8年度対市交渉議事録

開催日時	平成8年11月26日(火) 19:00~21:00		
開催場所	文化会館 第一会議室、第三会議室(保育で使用)		
出席者	市	児童家庭課 杉山課長 児童家庭課保育係 小沢係長、宇田川氏	
	六園	当代島 猫実 東野 富岡 入船 日の出	大西 板倉、大原 神林、本田 照沼、竹本、黒木(保育担当) 小山、山岸、藻谷、中山、青木(司会兼書記) 小吹、相沢

### 《議事内容》

#### 1. 六園からの要望事項に対する市の回答

##### 1.1 保育内容及び対数について

- (1) 各園に3~4名のフリー保育を配置している。近隣の自治体との水準と比較しても遜色はないと考えている。
- (2) 当面对数の見直しは、考えていない。児童福祉法の改正により変更する可能性はある。

##### 1.2 保育料について

- (1) 平成5年度から、4年間保育料は据置きとしている。また、第二子を半額としたため実質的には値下げ効果があると考えており、未満児の保育料についても値下げは考えていない。
- (2) 平成6年6月に完全給食の実施、平成7年7月に午前7時~午後7時までの時間外保育を実施しており、この面からも実質的な保育料は下がっている。

##### 1.3 産休明け保育について

- (1) 子供の月齢を考慮した場合、産休明け保育中の時間外保育は不適切と考えており実施はできない。
- (2) 受け入れ枠の拡大については、現在実施する方向で検討をしている。具体的な場所としては、富岡保育園を予定している。

##### 1.4 入園日以前の慣らし保育について

- (1) 慣らし保育の実施については、入園のしおりで説明しているとともに、入園決定通知後の入園前の面接でも説明を実施している。

##### 1.5 給食、おやつ食材の改善について

- (1) 野菜については、無農薬ではないが、国産の物を使用するようにしている。

(2) おやつについては、価格の問題があり、改善し難い面がある。

#### 1.6 市内保育園の施設の均一化について

(1) 入船、猫実保育園については、状況を確認後対応をしたい。

(2) 当代島保育園については、現在改修計画が進行中である。8年度は基本設計を実施しており、9年度に工事の着工まで進めたいと考えている。

#### 1.7 保育園の増設について

(1) 保育園の新設については、継続して検討はしている。待機児童の事情等を考えれば増設のための準備を始める時期に来ていると考えている。用地確保はできているが、建設予算の確保の目処が立たなければ新設は難しい。費用については、県の保健福祉部の予算枠の中で確保される必要があるが、当該組織は、県の福祉全体の予算を取り仕切っており特養老人ホームなども同じ枠の中に含まれるため困難が予想される。

(2) 老人ホーム等との共存を図った総合施設についても行く行くは検討したい。

#### 1.8 登園中の投葉について

(1) 投葉については、医師の中にも否定的な考え方を持つ方もおり、慎重に対処する必要があるが、相談に応じることになっている。

#### 1.9 保育料の自動引き落としについて

(1) 実施する方向で検討を進めている。実施に当たっては、当市の会計課との事務手続きの改正とともに、市のコンピュータシステムの変更や金融機関との調整が必要となる。

ちなみに、平成7年度の収入未済額（保育料の滞納）は、2,237万円発生している。原因は、「うっかり」や「金融機関に行く時間がない」等様々なケースが考えられるが、自動引き落としが実施されれば発生自体が減少するものと考えられる。

#### 1.10 防災マニュアルの作成配布について

(1) 避難場所、避難経路等については、各園に園だより等で配布するよう指示してある。避難場所については、保育園を含めた市の職員自身が市外在住者の場合等を考慮するとあくまで保育園が拠点であると考えていただきたい。神戸市における各学校の防災マニュアルを園長会議で参考資料として配付した。学校は、広域避難場所に指定されているため防災対策については、保育園より進んでいる。

#### 1.11 保父さんの採用について

(1) 採用の際の保父の応募は、毎年1名程度はある。採用する際には、特に性別に制限は設けていない。ただし、更衣室等の現在の各園の施設が男性の職員を受け入れる状態でないため、実際の採用に当たっては問題がある。

## 2. 質疑応答

### 2.1 保育料について

市： 保育料については値上げすべきだという意見もある。（応分負担という意味で）

今後もずっと据え置くのは困難と思われる。厚生省の考え方も、変わりつつあり、自由契約制度の導入を視野に入れた費用措置を考慮しているようである。例えば、定時間内は公的費用負担、時間外は私的費用負担とする等。

六園： 子育て費用をグローバルに考えれば、子供を保育園に預けて働いている父母は働く期間も長くその分納税額も多くなるのではないか。

市： 96年5月1日現在で、0歳から5歳までの児童は、市全体で7,696名。そのうち幼稚園児が1,450名(19%)、保育園児が801名(10%)、残りは自宅等で保育されている。児童家庭課としては、7,696名全体の施策を考える必要がある。その意味もあって、東野福祉センター内に児童館を設立した。

六園： 未満児2名を預けている場合の8万8千円の保育料は、やはり負担が大きい。このケースだけでも何とかご検討いただきたい。

市： 現在の保育料の算定方式で、月収60万円以上は、均一という状況も他の自治体と比較するとややいびつであり、改善の余地はある。

市： 保育料の自動引き落としについては、できるだけ早い機会に実施したいと考えている。

六園： 現在の払い込み方式の中で、月々の支払期限を遅らせていただきたい。会社等の給与と支払い日を考慮すると月末に設定いただければありがたい。

市： 納付期限については、できると思うので早速9年度に検討したい。

## 2.2 保育園の増設、定員について

六園： 保育園の増設の具体的な時期は、遠のいたと考えるべきか。

市： 出来る限り早期な建設を図りたい。

市： 保育園1カ所に必要な土地は約2,000㎡。市内のどこにでも確保できるわけではない。当代島保育園の改修で定員を増やす予定である。

六園： 当代島保育園の改修工事期間中の保育はどのように実施するのか。

市： 方法はいくつか考えられる。仮園舎を設営する案もある。

## 2.3 保育園の設備等について

六園： 遊具の点検はどのように実施されているか。

市： 日常の点検はされておらず、担当保母または、園長が気づいた時点での申請に基づいて修理している。

六園： 遊具が故障した場合の対応方法は。(猫実保育園の滑り台が壊れたまましばらく放置されていた)

市： 故障については出来る限り早期に対応するが、予算の制約で遅れる場合もある。

六園： 東野保育園の2Fのトイレには、和式が4、洋式が1設置されている。子供は洋式に集中するため、洋式を増設していただきたい。

- 六園： 園内の設備の定期点検は実施されているか。
- 市： 火災報知器等の安全設備については、法定点検は2年に1度実施している。法定となっていない塀、門扉、壁、遊具等は定期的には点検されておらず、現場に一任している。
- 六園： 素人では気づかない、または判らない老朽化等の可能性があるため、専門家の目で定期的にその他の設備も点検をお願いしたい。
- 市： 検討する。

#### 2.4 保父さんについて

- 六園： 1名あった応募者が不採用となった理由は。
- 市： 保母としての資質にかけると判断したため。施設の制約が理由ではない。
- 六園： 時間外の保母に学生アルバイトを利用してはどうか。
- 市： 子育て経験がある人の方が望ましいと考えている。時間外の保母についても、採用時に特に女性に限っているわけではない。

#### 2.5 その他

- 六園： 児童家庭課の職員の方に実際の保育園の状況を頻繁に見ていただきたい。
- 市： 職員は、一週間に一回程度の割合で保育園に行っている。園長、副園長会議も定例で実施している。
- 六園： 8年度は、芋掘り遠足は実施しないのか。
- 市： 遠足の場所については隔年で実施しており、8年度は動物公園となった。
- 六園： 市から父母に対してアナウンスすることはないか。
- 市： 時間外のお迎えが遅れる場合、必ず保育園へ連絡をお願いしたい。送迎の時のマイカー利用については、駐車マナーを充分考慮して欲しい。
- 六園： 上記2点については各園の父母会ニュース等を通して各父母に連絡する。